

【政治】

27 日：マリ共和国で平和維持活動に参加した部隊が大連に帰還

27 日、マリ共和国で国連平和維持活動（PKO）に参加した第 3 期中国平和維持部隊第 2 梯隊の士官・兵士 190 名が大連周水子国際空港に帰還した。唐軍大連市党委書記らが空港で行われた歓迎式典に出席した。（28 日付半島晨报 A10 面）

27 日：肖盛峰市長、交通運輸部の何建中副部長と会見

27 日、肖盛峰大連市長は交通運輸部の何建中副部長及び中国鉄路総公司の楊宇棟副総経理と会見を行った。（28 日付半島晨报 A10 面）

28 日：大連市の区・市・県・開放先導区党工委員会が座談会を開催

28 日、大連市区・市・県・開放先導区の党工委員会は、党規律を厳守することをテーマとした座談会を開催した。座談会には唐軍大連市党委書記が出席し、講話を行った。（30 日付大連日報 1 面）

2 日：第 15 期市政府第 52 回常務会議開催

2 日、肖盛峰大連市長主宰の第 15 期市政府期第 52 回常務会議が開催された。同会議では大連市の不動産市場の発展に関する議題が審議・採択された。（3 日付新商報 A8 面）

【経済】

26、27 日：趙化明遼寧省副省長、農業・上下水道の調査研究活動を実施

26、27 日、趙化明遼寧省副省長は省政府関連部門の責任者を率いて大連市を訪問し、農業、農村及び上下水道に対する調査研究活動を実施した。同調査研究活動には肖盛峰大連市長らも参加した。（28 日付半島晨报 A10 面）

30 日：陳求発遼寧省長、インテリジェンス製造企業に対し調査研究活動を実施

30 日、陳求発遼寧省長は大連市のインテリジェンス製造企業に対し調査研究活動を実施した。肖盛峰大連市長等市幹部が同活動に参加した。陳求発遼寧省は活動の中で、製造業は生産方法の転換と構造調整を行い、スマート化に力を入れていくよう強調した。（1 日付半島晨报 A13 面）

31 日：陳求発遼寧省長、IT 産業の発展・推進工作座談会を開催

31 日、陳求発遼寧省長は大連市にて IT 産業発展推進工作に関する調査研究活動を行い、また遼寧省 IT 産業発展推進工作座談会を開催した。肖盛峰大連市長が大連市の IT 産業の発展状況について報告を行った。陳求発遼寧省長は座談会上、IT 産業を遼寧省の経済発展の必要な柱としていかなければならないと強調した。（1 日付半島晨报 A13 面）

2 日：肖盛峰市長、北京市インフラ投資有限公司の田振清董事長と会見

2 日、肖盛峰大連市長は北京市インフラ投資有限公司の田振清董事長一行と会見を行った。肖盛峰市長は会見上、大連は現在都市化の急速的な発展時期を迎えており、同社にぜひ大連市のインフラ建設に積極的に参加してもらいたい旨述べた。（3 日付新商報 A8 面）

2日：肖盛峰市長、ノルウェーオッドフィルグループのオッドフィル董事長と会見

2日、肖盛峰大連市長はノルウェーオッドフィルグループのローレンス・ウォード・オッドフィル董事長と会見を行った。同社は世界最大の石油製品及びその他特殊製品の運輸、貯蔵を行う企業の1つで、1996年、大連港に液体貯蔵タンク埠頭を建設し、現在は西中島公共液体製品埠頭及び倉庫貯蔵プロジェクトの前期工程に着手している。(3日付新商報A8面)

【社会・文化】

1日：大連市、2016年に120名の専門人材を海外に派遣

大連市人社局が1日発表したところによれば、大連市は今年高い能力を持つ専門人材120名をベルギー、シンガポール、日本などに派遣し、港湾関連の専門技術、介護、日本料理、製造業の生産・加工・管理技術のトレーニングを受けさせる計画。同プログラムへの応募締め切りは15日まで。(2日付大連日報1面)

2日：大連市環境保護局、「2015年大連市環境状況公報」を発表

2日、大連市環境保護局は「2015年大連市環境状況公報」を発表した。発表によれば、2015年、市内の大気レベルが「優」であった日数は前年比19日減の50日間、「良」であった日数は前年比7日増の220日間であった。また、「嚴重な大気汚染」とされた日数は前年比2日増の3日間、「重度の大气汚染」とされた日数は前年比1日増の7日間であった。(3日付半島晨报A18面)

【日本関連報道】

1日：中日8都市から集まった8人の芸術家による書画篆刻展覧会が開幕

1日、中日8都市から集まった8人の芸術家による書画篆刻展覧会が万和祥茶楼にて開幕した。展覧会には日本からやって来た華人篆刻家の馬景泉氏らが参加。当該展覧会は4日に閉幕した後、山東省臨沂を巡回する予定。(2日付大連日報1面)

(注) 5月28日～6月3日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。